

授業シラバス

コース名 自転車メカニックコース

科目名	メカニック基礎実習 I		授業のねらい 自転車販売店での接客、運営に必要な知識や技術力を身につけ、即戦力として活躍できる人材を育成する。	
担当教員	藤堂、赤崎、河村			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	768時間	単位数	23単位	到達目標 自転車販売店で勤務するために必要な業界の知識、技術力を確実に身につける。
開講期間	2023.4.1～2024.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝ 河村(自転車店オーナー)			
授業の計画展開	メカニック基礎実習 I-1(サイクル基礎知識)			
	内容 自転車の種類、工具、ネジ、ケミカルなど、自転車整備に必要な知識を習得する。JIS規格に関しても習得する。			
	メカニック基礎実習 I-2(シティサイクル基礎)			
	内容 シティサイクルの規格、分解組立に必要な工具を学ぶ。			
	メカニック基礎実習 I-3(シティサイクルメカニック1)			
	内容 日本国内で90%以上のシェアを誇るシティサイクル(変速ギアなし)の分解、組み立て、調整の技術を講義、実習から学ぶ。			
	メカニック基礎実習 I-4(ホイール組(シティバイク))			
	内容 ホイールを構成する各パーツの種類や役割を理解し、組み立て技術を習得する。			
	メカニック基礎実習 I-5(フィッティング概論)			
	内容 ジオメトリの読み方、フィッティングの仕方などを学び、乗車体験などを通じてフレームサイズの選定や提案をする技術を習得する。			
	メカニック基礎実習 I-6(スポーツバイクメカニック1(ヘッド&チェーン))			
	内容 スポーツバイクを組む際に調整が必要な箇所である、ヘッドセットやチェーンの調整技術を講義、実習から学ぶ。			
	メカニック基礎実習 I-7(スポーツバイクメカニック2(ブレーキ))			
	内容 スポーツバイクを組む際に調整が必要な箇所である、ブレーキの調整技術を講義、実習から学ぶ。			
	メカニック基礎実習 I-8(スポーツバイクメカニック3(シフト))			
	内容 スポーツバイクを組む際に調整が必要な箇所である、シフトの調整技術を講義、実習から学ぶ。			
	メカニック基礎実習 I-9(シティサイクルメカニック2)			
内容 日本国内で90%以上のシェアを誇るシティサイクル(内装ギア、ベルトドライブ仕様)の分解、組み立て、調整の技術を講義、実習から学ぶ。				
メカニック基礎実習 I-10(素材研究)				
内容 カーボン、アルミ、クロモリ、チタンなど、自転車のフレームやパーツに使われている素材を知り、今後の可能性を模索していく。				
メカニック基礎実習 I-11(スポーツバイク基礎)				
内容 スポーツバイクの規格、分解組立に必要な工具を学ぶ。				
メカニック基礎実習 I-12(ホイール組(スポーツバイク))				
内容 スポーツバイクのホイールを構成する各パーツの種類や役割、組み方を理解し、組み立て技術を習得する。				
メカニック基礎実習 I-13(クロスバイクメカニック)				
内容 クロスバイクの分解、組み立て、調整を実習し、講義を通じて周辺知識を学習する。				
メカニック基礎実習 I-14(ロードバイクメカニック)				
内容 ロードバイクの分解、組み立て、調整を実習し、講義を通じて周辺知識を学習する。				
メカニック基礎実習 I-15(MTBメカニック)				
内容 MTBの分解、組み立て、調整を実習し、講義を通じて周辺知識を学習する。				
メカニック基礎実習 I-16(アッセンブル基礎)				
内容 要望に合わせてパーツやフレームを選定し、正しく提案できる商品知識やデータのまとめ方を学ぶ。				
メカニック基礎実習 I-17(イベントプランニング)				
内容 走行会、サイクリングガイド、大会、ツアーなどを開催するために必要な知識や情報を学び、実際にプランニングができる技術を習得する。				
履修上の注意事項	それぞれの課題毎に習得する知識や情報を活かしながら技術力を身につけることが重要である			
評価方法	実技および筆記試験、日頃の姿勢、出席状況による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	スポーツバイクメカニック教本<ロードバイク編>、スポーツバイクメカニック教本<MTB編>			

授業シラバス

コース名 自転車メカニクコース

科目名	サイクル基礎実習 I			授業のねらい 自転車販売店での接客、運営に必要な知識や提案力を身につけ、即戦力として活躍できる人材を育成する。
担当教員	赤崎、丹波、溝手			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	224時間	単位数	7単位	到達目標 自転車販売店で勤務するために必要な業界の知識、提案力を身につける。
開講期間	2023.4.1～2024.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有 = 丹波(グラフィックデザイナー) 溝手(グラフィックデザイナー)			
授業の計画展開	サイクル基礎実習 I-1(プロモーションアイテムデザイン1)			
	内容	プロモーションアイテムとして「フレームグラフィック」「名刺」「フライヤー」を制作する。クライアントを想定し、リサーチを行ったうえでデザインを行う。		
	サイクル基礎実習 I-2(動画制作基礎)			
	内容	プロモーション手法としての、動画制作や配信について学ぶ。iPad(iMovie)を用いた動画制作技術を習得する。		
	サイクル基礎実習 I-3(デザイン基礎知識)			
	内容	デザインにおけるブランドとロゴ、色彩学などを学び、スケッチによる自転車作図を行う。		
	サイクル基礎実習 I-4(自転車環境基礎&ライドプラン)			
内容	自転車の歴史、規格、ルールを学び、ライドを実施するためのプランニングを行う。			
サイクル基礎実習 I-5(スケッチトレーニング)				
内容	モノの観察から、構造理解と空間把握力を高め、スケッチの上達を目指す。			
サイクル基礎実習 I-6(自転車展示会場デザイン)				
内容	自転車業界の幅広い知識習得と自転車展示会などの空間デザインの提案を行う。			
履修上の注意事項	それぞれの課題毎に習得する知識や情報を活かしながら提案力を身につけることが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性・提案力 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 自転車メカニクコース

科目名	メカニク基礎実習Ⅱ		授業のねらい 自転車販売店での接客、運営に必要な知識や技術力を身につけ、即戦力として活躍できる人材を育成する。	
担当教員	藤堂、赤崎、河村、雨森			
対象学年	2年			
単位区分	必修			
授業時数	768時間	単位数	23単位	到達目標
開講期間	2023.4.1～2024.3			
授業形態	実習			自転車販売店で勤務するために必要な業界の知識、技術力を確実に身につける。
備考	実務経験有＝ 河村(自転車店オーナー) 雨森(自転車店オーナー)			
授業の計画展開	メカニク基礎実習Ⅱ-1(メカニク技術確認テスト)			
	内容	1年次で学習した自転車整備知識及び分解組立技術の再確認を行う。		
	メカニク基礎実習Ⅱ-2(パーツチューンナップ)			
	内容	変速機、ペダル、レバー、ハブなどのパーツを分解組立しオーバーホール、チューブラー、チューブレスなどの特殊タイヤの取り扱いに関して学び、技術を習得する。		
	メカニク基礎実習Ⅱ-3(油圧ディスク概論)			
	内容	スポーツバイクで定番になりつつある油圧ディスクブレーキの構造や知識を学び、整備力を身につける。		
	メカニク基礎実習Ⅱ-4(安全整備士、技士対策)			
	内容	自転車安全整備士、自転車技士資格の詳細を学び、筆記試験、実技試験のレギュレーションに合わせた試験問題への取り組みを行い、安全に整備する技術の習得を目指す。		
	メカニク基礎実習Ⅱ-5(多種自転車整備)			
	内容	自転車店で流通する機会の多い、代表的な車種の特徴、調整方法、周辺知識を学ぶ。		
	メカニク基礎実習Ⅱ-6(アッセンブルアドバンス)			
	内容	習得して来た商品知識を使い、様々なニーズに対して的確に提案できる資料を作成する。		
	メカニク基礎実習Ⅱ-7(Di2概論)			
内容	スポーツバイクで定番になりつつあるSHIMANO Di2の構造や知識を学び、整備力を身につける。			
メカニク基礎実習Ⅱ-8(eバイク&マウンテンバイク概論)				
内容	マウンテンバイクに特化して規格、特徴、整備方法、乗り方を学ぶとともに近年広がりつつあるeバイクについての知識を習得する。			
メカニク基礎実習Ⅱ-9(トレンドバイクパーツ概論)				
内容	常に新商品、新規格が発表される自転車関連アイテムに焦点を当て、いち早くトレンドを学び知識を習得する。			
メカニク基礎実習Ⅱ-10(スポーツバイクメカニク検定対策)				
内容	スポーツバイクメカニク講習専属講師を招き、修了検定合格レベルを目指した講義・実習を実施する。			
メカニク基礎実習Ⅱ-11(パーツ&アクセサリ実習)				
内容	自転車店で流通する機会の多い、代表的なパーツおよびアクセサリの特徴、調整方法、周辺知識を学ぶ。			
メカニク基礎実習Ⅱ-12(卒業テスト)				
内容	1年次から学んできた自転車、パーツ設備、工具使用方法の習得度を確認する。			
履修上の注意事項	それぞれの課題毎に習得する知識や情報を活かしながら技術力を身につけることが重要である			
評価方法	実技および筆記試験、日頃の姿勢、出席状況による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	スポーツバイクメカニク教本<ロードバイク編>、スポーツバイクメカニク教本<MTB編>			

授業シラバス

コース名 自転車メカニクコース

科目名	サイクル基礎実習Ⅱ			授業のねらい 自転車販売店での接客、運営に必要な知識や提案力を身につけ、即戦力として活躍できる人材を育成する。
担当教員	赤崎、河村、長谷川			
対象学年	2年			
単位区分	必修			
授業時数	224時間	単位数	7単位	到達目標 自転車販売店で勤務するために必要な業界の知識、提案力を身につける。
開講期間	2023.4.1～2024.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝ 河村(自転車店オーナー) 長谷川(中小企業診断士)			
授業の計画展開	サイクル基礎実習Ⅱ-1(ライドプランニング)			
	内容 自分の好きな街を選び、他者が走りたくなるようなライドプランを提案する。			
	サイクル基礎実習Ⅱ-2(プランニング&プレゼンテーション)			
	内容 イベントプランニングやコンセプトショップのプランニングを通じ、企画の基本とプレゼンテーションテクニックを学ぶ。			
	サイクル基礎実習Ⅱ-3(スケッチトレーニングアドバンス)			
	内容 モノの観察から構造理解と空間把握力を高め、自分のアイデアを他者へ伝えられるようスケッチの上達を目指す。			
	サイクル基礎実習Ⅱ-4(構造と素材)			
	内容 自転車に限らず、物体の構造と素材に関して、講義と実習を通して学ぶ。			
サイクル基礎実習Ⅱ-5(行動観察からの企画提案)				
内容 人間の行動観察をテーマに分析やアイデアへ発展させる方法を学ぶ。				
サイクル基礎実習Ⅱ-6(リサーチからの企画提案)				
内容 商品企画のトレーニングとして、リサーチから問題点を抽出し、企画立案を行う。				
サイクル基礎実習Ⅱ-7(ショッププランニング)				
内容 立地、商材、在庫、資金など、自転車店を継続的に運営していくために必要なものを学ぶ。				
履修上の注意事項	それぞれの課題毎に習得する知識や情報を活かしながら提案力を身につけることが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性・提案力 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			